

機能構成図

項番	サブシステム名	システム機能 (レベル1)	システム機能 (レベル2)	システム機能 (レベル3)	内容	処理タイミング
1	匿名化・提供システム	匿名化機能 (レセプト情報)	レセプト情報取込	取込機能	<ul style="list-style-type: none"> ・取り込むファイルがフォーマットに基づいた正確なファイルであるかを確認できること。正確なファイルでない場合は、エラーメッセージを表示し、取り込みを中止すること。 ・業務システム中のデータベースから取出されたレセプト情報をファイルから取り込むことができること。なお、取り込む際にデータを条件に従って検索等を行う必要はなく、ファイル内のデータを全数取り込むこと。 	月次
2			個人情報匿名化	ID生成	<ul style="list-style-type: none"> ・同一人物のレセプト情報を識別できるIDを生成すること。本IDは、健診・保健指導情報との突合のためにも用いる。従って、同一人物であればレセプト情報で付与するIDと健診・保健指導情報で付与するIDが同一であること。 ・個人情報（別紙9「データ定義書」を参照）を基にIDを生成する仕組みの場合には、IDから個人情報に戻れないよう、不可逆性を担保すること。（項番7参照） 	月次
3				個人情報削除機能	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙9「データ定義書」（削除するデータ項目）に示したデータを削除できること。 	月次
4	提供機能 (レセプト情報)		レセプト情報出力	暗号化機能	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプト情報を暗号化できること。 	月次
5				出力機能	<ul style="list-style-type: none"> ・暗号化したレセプト情報をファイルに出力できること。 	月次
6	匿名化機能 (健診・保健指導情報)	健診・保健指導情報取込	健診・保健指導情報取込	取込機能	<ul style="list-style-type: none"> ・取り込むファイルがフォーマットに基づいた正確なファイルであるかを確認できること。正確なファイルでない場合は、エラーメッセージを表示し、取り込みを中止すること。 ・業務システム中のデータベースから取出された健診・保健指導情報と「保険者番号」、「記号番号」、「氏名」、「生年月日」、「男女区分」など項番8「ID生成」機能に必要な情報をファイルから取り込むことができること。なお、取り込む際にデータを条件に従って検索等を行う必要はなく、ファイル内のデータを全数取り込むこと。 	年次
7			個人情報匿名化	ID生成	<ul style="list-style-type: none"> ・同一人物の健診・保健指導情報を識別できるIDを付与すること。このIDは、レセプト情報との突合のためにも用いる。従って、同一人物であればレセプト情報で付与するIDと健診・保健指導情報で付与するIDが同一であること。 ・個人情報（別紙9「データ定義書」を参照）を基にIDを生成する仕組みの場合には、IDから個人情報に戻れないよう、不可逆性を担保すること。（項番2参照） 	年次
8				個人情報削除機能	<ul style="list-style-type: none"> ・「別紙9 データ定義書」に定義している「削除するデータ項目」を削除できること。 	年次
9			健診・保健指導情報出力	暗号化機能	<ul style="list-style-type: none"> ・健診・保健指導情報を暗号化できること。 	年次
10			出力機能	<ul style="list-style-type: none"> ・暗号化した健診・保健指導情報をファイルに出力できること。 	年次	

機能構成図

項番	サブシステム名	システム機能 (レベル1)	システム機能 (レベル2)	システム機能 (レベル3)	内容	処理タイミング	
11	取込・定型資料作成等システム	データ取込	レセプト・健診・保健指導情報取込	取込機能	・媒体からレセプト情報及び健診・保健指導情報を取り込むことができること。 ・匿名化・提供システムを利用せずに媒体が作成されていないかを、ファイル名やファイルのフォーマット等からチェックし、個人情報が含まれていないことを確認すること。また、匿名化・提供システムを利用せずに作成された媒体である場合は、エラーレポートを出力し、媒体から取込・定型資料作成等システムへの取り込みを行わないこと。	月次	
12				復号化機能	・暗号化されたレセプト情報及び健診・保健指導情報を復号化処理できること。	月次	
13				蓄積処理	・復号化されたレセプト情報及び健診・保健指導情報を蓄積すること。 ・レセプト情報について、審査履歴以外の審査完了後のデータのみを蓄積すること。	月次	
14				データ突合 (名寄せ)	名寄せ機能	・同一人物のレセプト情報及び特定健診・保健指導情報を突合できること。	月次
15	データ出力	データ出力条件設定	データ出力条件設定機能	データ出力条件設定機能	・蓄積されているデータを以下のように出力・集計する条件を設定できること。 ①データ項目に対して条件を指定し（複数条件の指定も可能とする）、条件に該当するレコードから、指定したデータ項目を抽出 ②データ項目に対して条件を指定し（複数条件の指定も可能とする）、条件に該当する項目の件数を集計。なお、都道府県別、保険者別、月別等の集計グループ別の件数を集計できること。 ③データ項目に対して条件を指定して検索し（複数条件の指定も可能とする）、条件に該当するデータ項目だけではなくレコード全てを抽出	随時	
16				定期出力設定	定期出力設定機能	・データ出力をスケジュール登録し、定期的（毎日、毎週、毎月等）に出力するように設定ができること。 ・スケジュール登録においては、カレンダー形式の画面を利用して設定することができること。 ・スケジュール登録した状況を画面で確認することができること。 ・出力は、テキストファイル（CSV、TSV）等の設定ができること。	随時
17				データ出力	暗号化機能	・出力したデータを暗号化できること。	随時
18				データ出力機能	・暗号化したデータを媒体に出力できること。	随時	
19	マスターメンテナンス	マスターデータ取込	データ取込機能	・更新対象のマスターデータを選択し、更新できること。	随時		
20	運用基盤 ※業務フローにはないが、業務を実現する上で必要となる運用基盤業務。 設計時に、記述した機能以外に必要な機能を追加すること。	稼働状況管理	稼働監視システム	・稼働監視ができること。	随時		
21			ネットワーク状況監視	・トラフィック監視等ができること。	随時		
22			閾値監視	・リソース監視ができること。 ・ディスク使用率監視ができること。 ・データベースの空き容量監視ができること。 ・システムユーザごとのファイル容量監視等ができること。	随時		

機能構成図

項番	サブシステム名	システム機能 (レベル1)	システム機能 (レベル2)	システム機能 (レベル3)	内容	処理タイミング
23				サービス稼働監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ポート番号単位のサービス稼働監視ができること。 ・ソフトウェアプログラムを稼働するうえで必要なプロセスの監視ができること。 	随時
24				ジョブ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・バッチジョブのスケジュール管理ができること。 ・バッチジョブの稼働監視ができること。 	随時
25				サービス管理	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインサービスのスケジュール管理ができること。 ・オンラインサービス開始・停止ができること。 	随時
26			データ管理	バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・運用マニュアルに基づくバックアップの実施ができること。 	随時
27				リストア	<ul style="list-style-type: none"> ・保守マニュアルに基づくリストアの実施ができること。 ・リストア管理票の作成ができること。 	随時
28			セキュリティ監視	侵入検知	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの侵入に対するセキュリティ監視ができること。 	随時
29				ウイルス監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス除去・検知に対する監視ができること。 	随時
30			ログ管理	ログチェック	<ul style="list-style-type: none"> ・OSログ、ソフトウェアログ等の管理ができること。 ・ログ管理票の作成ができること。 	随時
31			セキュリティ管理	ID管理	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者のログインID、パスワードの発行ができること。 ・各利用者のログインID、パスワードの発行ができること。 ・管理者の権限変更への対応ができること。 ・利用者の権限変更への対応ができること。 ・アクセス制限ができること。 	随時
32				パッチ適用	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティパッチの適用ができること。 ・セキュリティパッチの適用状況管理ができること。 	随時
33				ウイルスパターン ファイル更新	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンファイルの更新ができること。 ・パターンファイルの更新状況管理ができること。 	随時
34			データ管理	データの修正・削除	<ul style="list-style-type: none"> ・データの修正・削除が必要な場合、担当者からの依頼により実施ができること。 	随時
35			保全管理	定期保守	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの再編成ができること。 	随時